

EF306HF-116G ユーザーズガイド

第三版 2011年6月 発行

1. 概要

EF306HF-116Gは、EFP-I本体に装着して使用するEFP-I本体専用パラレル書込みユニットです。

EF306HF-116Gを使用することにより、ルネサスエレクトロニクス製M16C/6Hグループのフラッシュメモリ内蔵MCUへの書込み、読出しができます。

またEF306HF-116Gには116ピン0.65mmピッチQFP(116P6A-A)用ICソケットを実装しています。

図1.1にEF306HF-116Gの外形図を示します。

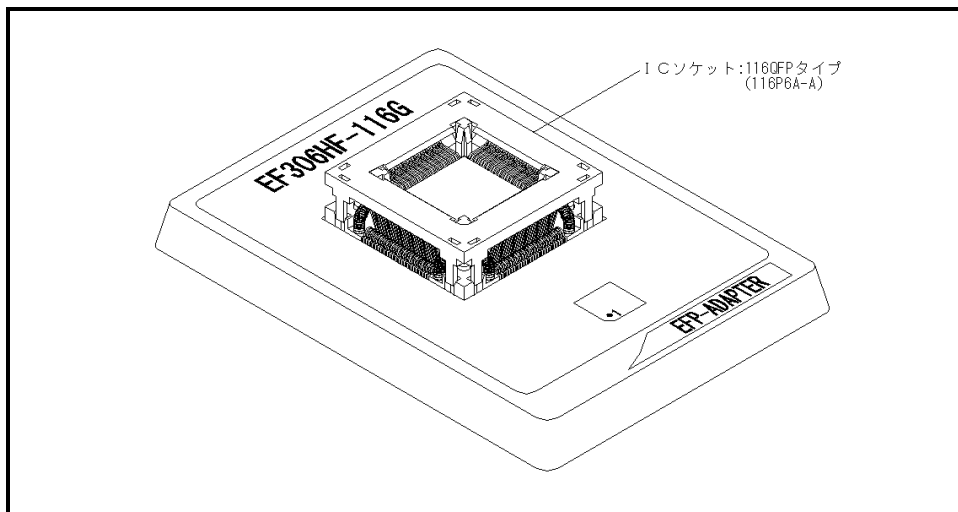


図1.1 EF306HF-116G外形図

2. MCUの挿入方向

MCUを挿入するときは、EF306HF-116GのICソケットの1番ピンとMCUの1番ピンを合わせて挿入してください。誤挿入はMCUに致命的な破損を引き起こしますので、十分ご注意ください。

図2.1にMCUの挿入方向を示します。

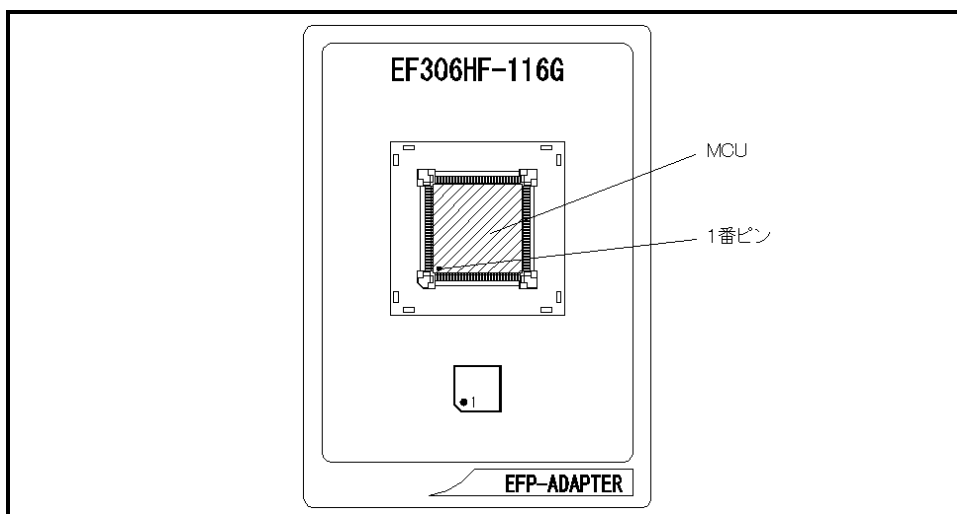


図2.1 MCUの挿入方向

3. 対応MCU一覧

表3. 1にEF306HF-116Gの対応MCU一覧表を示します。

表3. 1 EF306HF-116G対応MCU一覧表

MCUタイプ	メモリタイプ	対応MCU名称	プログラムメモリアドレス
M306HxFC (BOOT)	フラッシュメモリ	M306H2FCFP	DE000h~DFFFFh
M306HxFC (NORMAL)			E0000h~FFFFFFh

[備考]

EF306HF-116Gを使用する場合、下記の環境にてご使用ください。

<EFP-I 本体>

Monitor Version : Ver. 3.00.41 以上

<コントロールソフトウェア>

WinEFP Version : Ver. 1.20.21 以上

EFP MCU32.TBL Version : Ver. 3.02.20 以上

EFP-I および WinEFP 等のバージョン番号は、WinEFP ウィンドウメニュー内の [Help] → [About] で表示されます。ご使用の EFP-I 等の S/W バージョンが古い場合は、下記のサイトにて最新バージョンアップデータをダウンロードしてください。

<EFP-I 最新 S/W 無償ダウンロードサイト>

http://www.suisei.co.jp/productdata_efp1_j.html

4. MCUユニットの清掃

MCUユニット上のICソケットの接触不良を防止するために使用回数に応じて、定期的にICソケット内の接触ピンをブラシ等で清掃ください。

5. Erase (イレーズ)

イレーズコマンド内のイレーズタイプパラメータでブロック消去および、全ブロックの一括消去が行えます。イレーズコマンドのパラメータ入力ダイアログを図5. 1に示します。

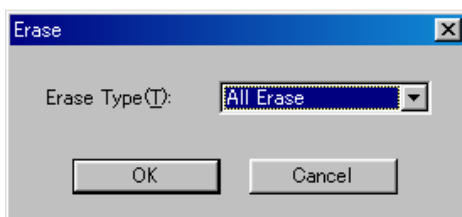


図5. 1 イレーズコマンドパラメータ入力ダイアログ

1) Erase Type (イレーズタイプ)

イレーズタイプパラメータ表示領域右側のドロップダウンリスト（下矢印をマウスでクリックすると表示）内には All Erase および各ブロックのアドレス領域 (xxxxxxh~xxxxxxh) が表示されますので消去形式を選択してください。

2) OKボタン

イレーズコマンドを実行します。

3) Cancelボタン

コマンドを中止します。

6. デバイスコマンドでのパラメータ入力

本MCUユニットで使用するMCUはデータを書込み、読み出しをWORD単位で行います。

各コマンドのStart Addressには偶数、End Addressには奇数アドレスを入力してください。

またStart、End AddressにWORD単位以外のアドレスを入力した場合は、パラメータエラーが発生しコマンドを中止します。

7. EFP-I内蔵RAMの自動オフセットアドレス

EFP-I本体には512KバイトのユーザーバッファRAMを内蔵しています。通常EFP-I本体はバッファRAMの使用可能領域を0h~7FFFFhに割り当てますが、本MCUユニットを使用する場合は自動で80000hのRAMオフセットが設定されバッファRAMの使用可能領域を80000h~FFFFFFhに割り当てています。

※WinEFPウィンドウメニュー内の[Edit]内のコマンドは、80000h~FFFFFFhの領域を設定してください。

自動オフセット設定のため、0h~7FFFFhの領域は使用できません。

※ダウンロード、アップロードコマンド等のOffset Addressパラメータに表示値を入力すると、“入力値 + 自動オフセット値(80000h)”の値がバッファRAMに対するオフセット値となります。

※バッファRAMのオフセットに関する説明はEFP-Iコントロールソフトウェア WinEFP取扱説明書の“5.1 オフセットアドレスの考え方”に記載されています。